

第22期考古学セミナー（2020年度）

－水木田遺跡と縄文時代中期前半の山形－

第2回講座

講義③

最上地域の縄文時代中期前半について

(公財)山形県埋蔵文化財センター

水戸部 秀樹 氏

令和2年10月11日（日）

会場 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

最上地域の縄文時代中期前半 について

うきたむ風土記の丘考古資料

公益財団法人山形県埋蔵文化財センター
専門調査研究員 水戸部秀樹

令和2年10月11日

1



注口土器

最上郡大蔵村白須賀遺跡 出土
高さ14×口径
12.5cm
縄文中期
山形県指定有形文化財

最上地域における縄文時代中期前葉・中葉(大木7・8式)の遺跡分布

3



**現在調査中
杉沢C遺跡**

- ◆ 遊佐町杉沢字北の前
- ◆ 大木8式および晩期(大洞A2式)の土器が出土している。



杉沢A遺跡
出土土偶

2

水木田遺跡の概要

位置	最上町月楯字水木田ほか
調査面積	3,500㎡(推計)
時代	縄文時代中期、古代
種別	集落跡

- ◆ 昭和53年調査
- ◆ 出土遺物は1,000箱、遺跡の範囲は88,000㎡と報告されている。縄文時代の遺構は竪穴住居8棟と土坑、配石遺構など。詳細は不明。
- ◆ 平成23年6月27日に出土した土器・石器のうち330点が重要文化財に指定された。
- ◆ 住居内の地床炉の中から大型の土偶が出土した。

4

大木7b・8a式土器



5

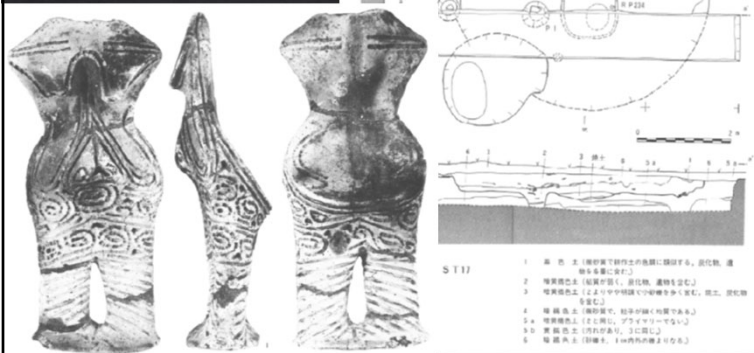
西ノ前遺跡の概要

位置 舟形町舟形字西ノ前
 調査面積 4,450㎡
 時代 縄文時代中期(大木7a~8b式)
 種別 集落跡

- ◆ 平成4年調査
- ◆ 出土遺物は900箱、遺跡の範囲は10,500㎡と報告されている。竪穴住居9棟とフラスコ状土坑60基、土坑・ピット多数、沢状の落ち込みが見つかった。落ち込みから多数の遺物が出土。
- ◆ 平成10年6月30日に出土した土偶48点が重要文化財に指定された。
- ◆ 平成24年9月6日に国宝・国宝附に指定された。
- ◆ 福島市のじょーもびあ宮畑にて、国宝土偶5体のレプリカと福島の土偶が展示される(2020年10月9日から12月14日まで)

7

住居内の地床炉から土偶が出土

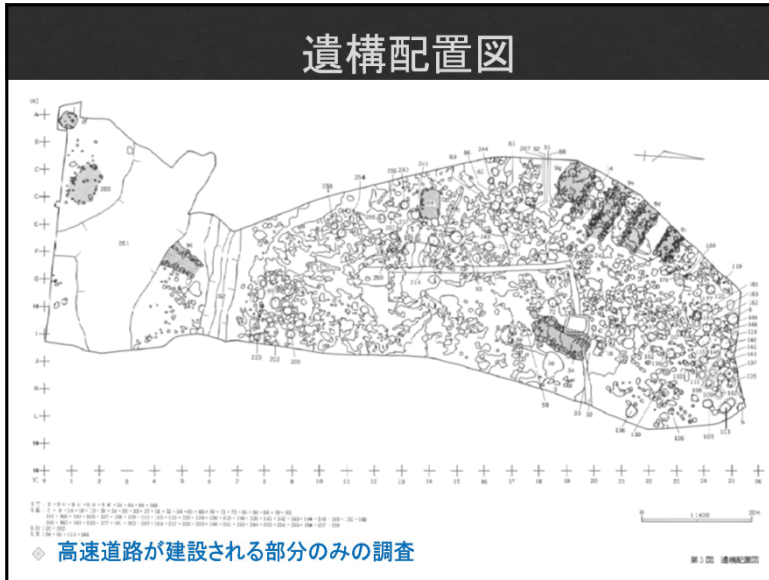


6

縄文の女神



8



9



11



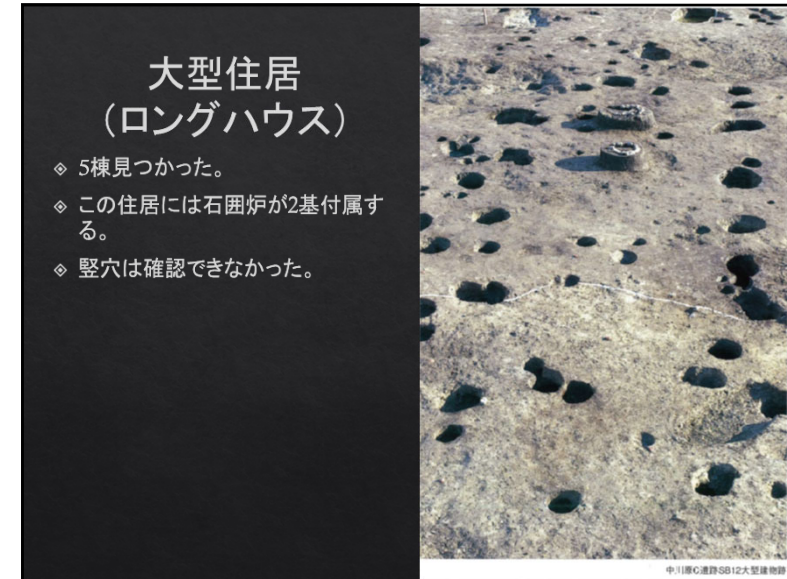
10



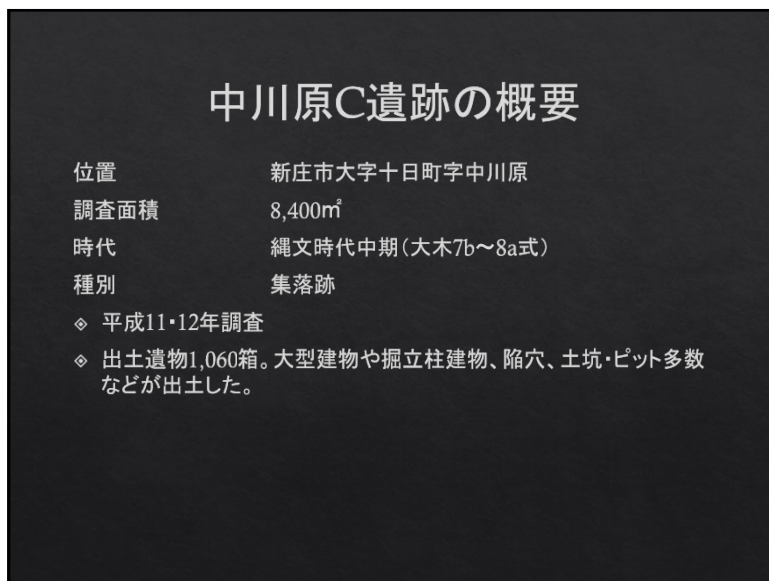
12



13



15



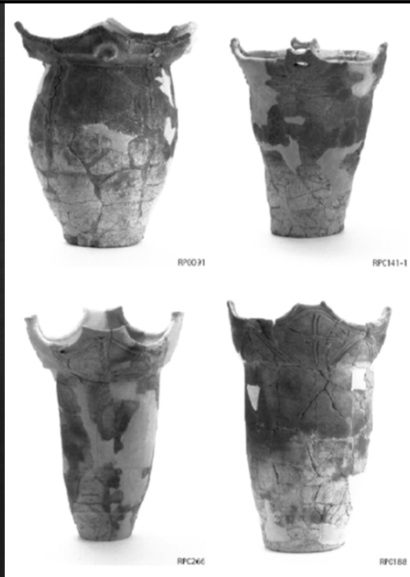
14



16

出土土器

- ◇ 大木7b、8a式土器が出土。



17

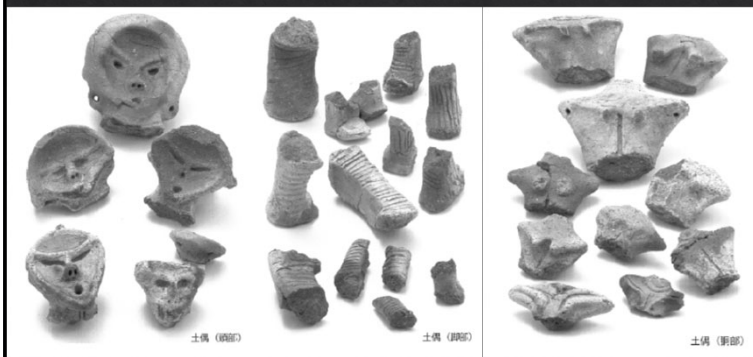
かっぱ遺跡の概要

- | | |
|------|----------------------|
| 位置 | 最上町大字富沢字合羽 |
| 調査面積 | 6,000㎡ |
| 時代 | 縄文時代中期中頃(大木8a式)・後期前半 |
| 種別 | 集落跡 |
- ◇ 平成12年調査
 - ◇ 出土遺物467箱。中期の遺物はその一部のみで、旧河道の東岸の限られた区域からまとまって出土した。中期の遺構は調査区内にはなかった。
 - ◇ 後期前半の遺構・遺物は非常に充実しており、拠点集落として機能していたと考えられる。中期では衛星的な集落であろう。

19

顔のある土偶が出土

- ◇ 縄文の女神と似ているが顔がある。
- ◇ 大型品も多い。



18

完掘状況



20

旧河道SX21



◇ 東側にのみ中期の遺物が集中

21

本町遺跡の概要

位置 金山町大字金山字本町
 調査面積 757㎡
 時代 縄文時代中期(大木7b・8a式が主)
 種別 集落跡
 ◇ 昭和55年調査
 ◇ 出土遺物20箱。竪穴住居13棟、土坑18基、祭壇跡1基が見つかった。

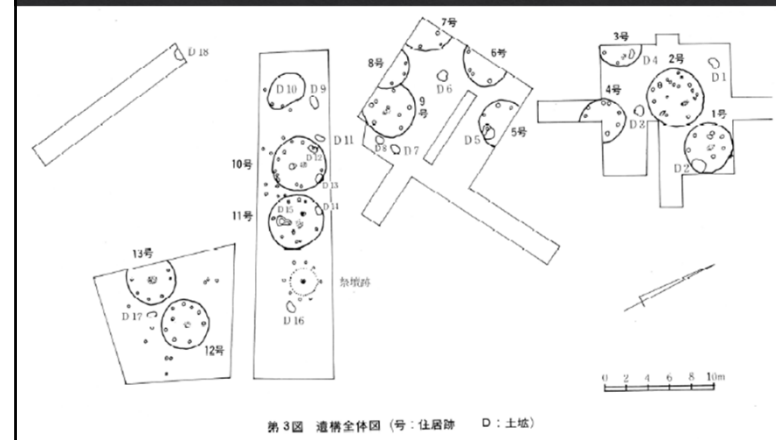
23

中期中葉の土器(大木8a式)



22

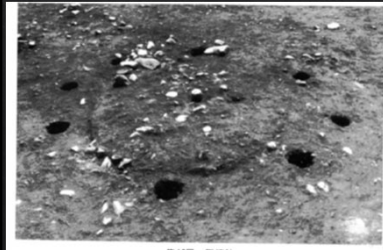
調査区平面図



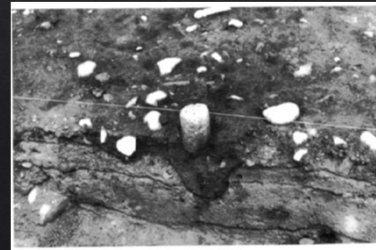
24

祭壇跡

- ◆ 中央に石棒が立ち、その周りには黄色粘土が敷き詰められている。さらにその周りに8基の柱穴が見つかった。



第12図 祭壇跡



第14図 祭壇跡と柱序

25

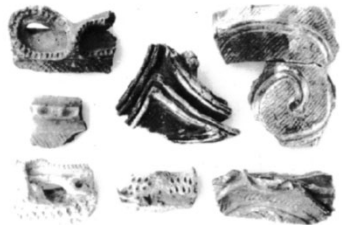
熊の前遺跡の概要

- | | |
|------|--------------------|
| 位置 | 最上町大字向町字熊の前 |
| 調査面積 | 288㎡ |
| 時代 | 縄文時代中期(大木7b・8a式が主) |
| 種別 | 集落跡 |
- ◆ 昭和52年調査
 - ◆ 出土遺物90箱。竪穴住居3棟、土坑10基などが見つかった。

27

出土遺物

- ◆ 大木7b・8a式が主。
- ◆ 西ノ前タイプの土偶が出土。



第17図 土器口縁部

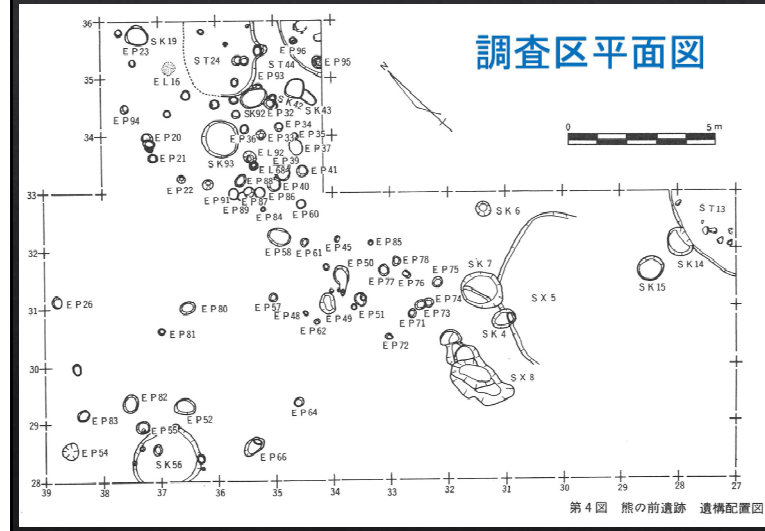


第18図 土器口縁部



26

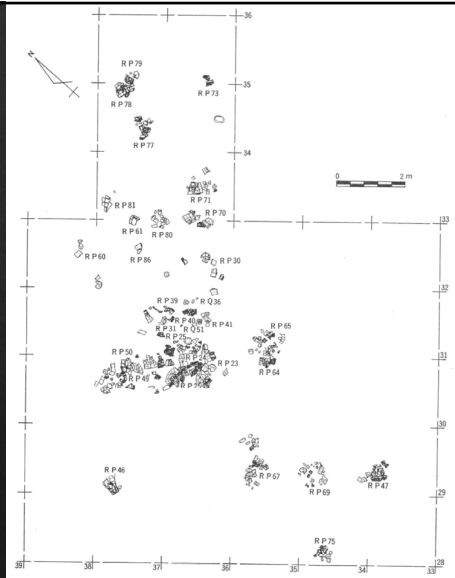
調査区平面図



28

遺物出土状況

- ◆ 密集して廃棄される。

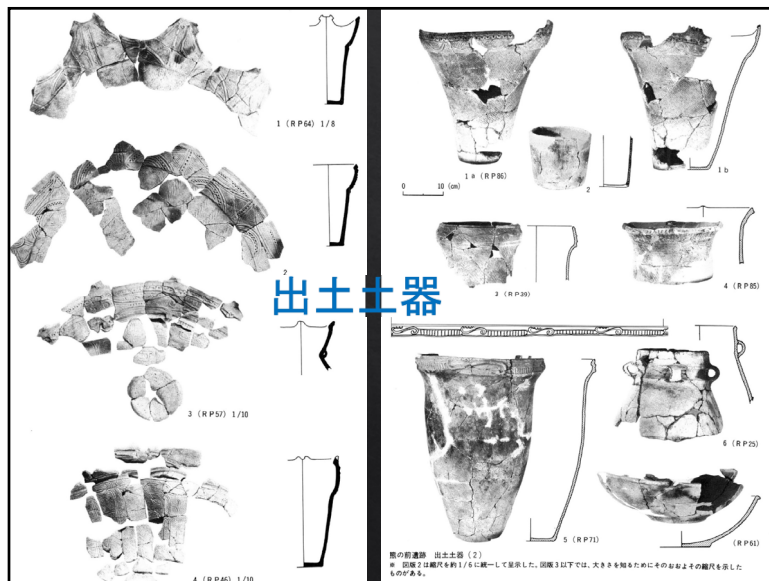


29

最上地方の中期前半

- ◆ 各地に拠点的集落が存在し、その衛生集落も見られる。
- ◆ 大型の土器が密集した状態で廃棄される例が目立つ。
- ◆ 大木7a・8b式の遺物が多くその前後は少ない。
- ◆ 西ノ前タイプの土偶の中心地であり、類似した土偶が数多く出土している。
- ◆ 遺物は大量に出土しているが、状態の良い竪穴住居の検出例に乏しい。集落の全体像がつかめていない。
- ◆ 我が国最大級の土器を作り、最大の土偶を作りだした地域である。この作風を生み出した地域の実態をより詳しく解明するためにも、最新の調査技術で状態の良い集落遺跡を調査したい。

31

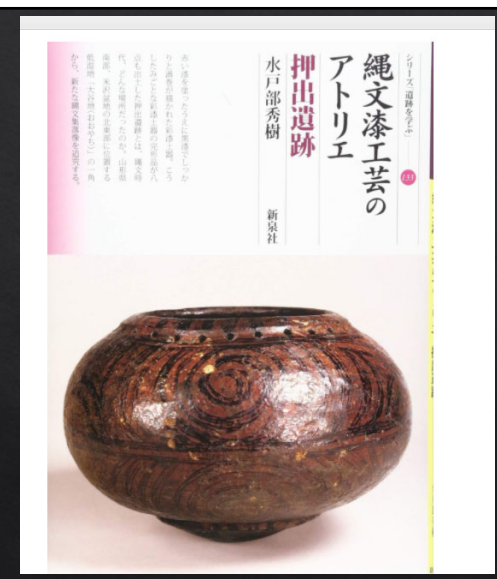


30

宣伝です。

押出遺跡の調査成果をまとめた本

1760円(税込)



32